

遠賀川流域活動報告

遠賀川流域だより

第25号
平成24年4月

写真：直方チューリップフェア
直方リバーサイドパーク(直方市)

◆遠賀川流域◆ 遠賀川のシンボル サケの稚魚を放流しました [詳しい記事を見る](#)

今年もサケの稚魚放流のシーズンがやってきました。

遠賀川はサケが遡上する南限の河川とされていますが、残念ながらこの冬の遠賀川への里帰りは実現しませんでした。年々サケの放流活動が盛んになっている事を思うと大変残念です。



それでは今年実施された稚魚の放流活動をいくつかご紹介します。記事を読んで興味を持たれた方、放流活動を是非実施したいと思われた方は、「遠賀川住民流域の会(0948-22-3535)」か、「遠賀川源流サケの会(0948-57-4110)」までお問い合わせ下さい。

2月26日(日) 遠賀町青少年育成町民会議

遠賀町立広渡小学校近くの西川河川敷において、遠賀町青少年育成町民会議の主催で稚魚の放流会が行われました。今年孵化した受精卵は震災の影響でこれまでの福島県産が手に入らず、新潟県産に急遽変更し、9つの団体(学校、団体)と44人のボランティアのもと、それぞれの職場や家で7500個もの卵を孵化させ、約3か月かけて5cmほどの稚魚に成長させました。

稚魚を育て、放流に参加した小学生達は、「3か月間をサケと共に過ごし、命の尊さと、大事さを共に感じた」と話し、放流する際には「放流せずに家でずっと飼っていたい」「絶対に帰って来て欲しい」と語っていました。放流後、泳ぎだす稚魚をずっと見ている子供の姿がとても印象的でした。



3月1日(木) 嘉麻市民環境放流

昨年11月、嘉麻市馬見山キャンプ場に新しいサケの孵化場が完成しました。なんと、4万個の卵を一斉に孵化させる事が出来る大型の水槽が自慢です。記念すべき最初の放流会には、卒業式を控えた福岡県立嘉穂総合高校大隈城山校の生徒30人、大隈小学校6年生の児童30人、施設の活動支援者、一般の参加者ら約250人が嘉穂水辺の楽校に集まりました。

青木会長(遠賀川源流サケの会)は「新しい孵化場は、遠賀川源流から直接水を引く事ができ、美しい水と安定した水源を確保した事でふ化率は97%にもなり、サケの稚魚は大きく元気に育ちました。4年後元気に帰ってくることを願ってみなさん放流してください。」と話され、最初の放流会を無事に終えてホッとしたご様子でした。

最後に卒業を控えた大隈城山校の生徒たちは、「新しく旅立つ稚魚と、これから社会にでる自分達を重ねて見えました」と感想を話していました。



3月2日(金) 金辺川を楽しむ会

香春町親水公園では、香春町の小学生120人と、金辺川を楽しむ会の手によって2,000匹の稚魚が放流されました。

金辺川を楽しむ会の吉武会長からは「金辺川を流れる水は上流はきれいですが、下流に行くほどゴミが多く水が汚れており、住んでいる人は大変困っています。みなさんは大切な川を汚さないようにしましょう。」と子供たちに川の大切さを伝えた後、放流会が始まりました。

参加した児童は「4年後に帰ってくるので、川をきれいにしたいと思いました。」「とっても小さい魚なのでびっくりした。はやく大きくなって戻ってきてほしいです。」と話していました。



詳しい情報はWebで!! 「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」にはより詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。※検索画面において、[遠賀川流域だより ダウンロード](#) で検索してください。

◆田川市◆ 安全な水ってどんな水 田川市の浄水場を見学しました 2月2日(木)

[詳しい記事を見る](#)

田川市伊田にある伊田浄水場の見学会を、田川ふるさと川づくり交流会のみなさんを中心に行ないました。田川市の水道水は水源である陣屋ダム（放流水）、川宮（地下水）、成導寺（表流水）、位登（伏流水）から取水され、浄化処理を行って市内各地に供給されています。

見学した伊田浄水場で1日に処理される水の量は、一般的な小学校のプール約6杯分に相当するそうで、局員の説明では「きれいで美味しい水道水を作るには原水がきれいでなければなりません。近年では、田川市の水源汚染が進み、消毒のために多くの薬品を入れています。水を上手に使って、きれいな水を川に戻す事を心がけてください。」と話されました。

参加者からは、「子どもたちだけでなく、大人達も含め、水環境にもっと興味を持ってもらいたい。」「川の水が汚れていると、多くの手間とお金がかかる。この事実をもっと多くの人々に伝えたい。」との感想がありました。



沈殿池で細かな砂やゴミを取り除き、急速ろ過池で水をこします。 原水の水质を検査、薬品検査(左)、金魚で水质管理(右) 浄水場を操作する管理室

◆北九州市◆ 国境を越えて、ほたるの命と環境の大切さを伝える。2月18日(土)

[詳しい記事を見る](#)

小学生がホタルの生態を学習した成果を報告する「第13回香月・黒川ほたる教室」が、八幡西区木屋瀬の市立長崎街道木屋瀬宿記念館「こやのせ座」で開催されました。

報告会には、ホタルの名所として知られる黒川流域にある楠橋小や香月小など計6校の小学生約100人と、韓国自然学校の生徒11人が参加し、黒川の自然やホタルの生態・生育環境を写真や図で紹介しました。

地元の小学生からは、「ホタルがいたら寿司が美味しい」、「ホタルでつなごう私達の北九州」など、子どもらしい視点でまとめられた発表に会場から大きな拍手が送られました。また、10年来の交流があるソナム市、ナムヤンジュ市の小学2年生から高校1年生までの生徒達が「どこにいるの？ ホタルさーん」という題で発表し、「ほたる」というキーワードをとおして両国の交流が交わされました。



楠橋小学校「ほたるとカワナナ」 千代小学校「ホタルのひみつをさぐるう」 韓国自然学校「どこにいるの？ ホタルさーん」 韓国の参加者と市長との記念撮影

◆直方市◆ 川について色々調べてきたよ～いけいけチャレンジ！遠賀川 3月3日(土)

[詳しい記事を見る](#)

3月3日に直方市の遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）で「第8回 いけいけチャレンジ！遠賀川」が開催されました。この発表会は、遠賀川流域の小中学校の児童・生徒が、河川について学んだ事や活動したことを発表してもらい、他校の取り組みを知る事で河川環境の理解を深め、参加された児童・生徒との交流を図ることを目的に開催されました。

発表会では、児童・生徒たちが調査した結果を参加しているみんなと一緒に考えてもらおうと、寸劇やクイズ形式にするなど、工夫を凝らしたものが多くあり、とてもわかりやすく発表していました。

そして、川の水は私達だけでなく、そこに住む生き物にとっても大切な命の水です。「昔はとてもきれいな川でしたが、今はゴミがたくさん流れている。きれいな川を返してほしい。私たちの命を守ってほしい」と訴えていました。



「今自分たちができること(環境問題を解決するために)たくさん調べてきたよ 川の生き物になって「川をよごさないで」と寸劇で呼びかけ



下境小学校(直方市) 下山田小学校(嘉麻市) 直方西小学校(直方市) えぶり小学校(水巻町) 小竹中学校(小竹町)

遠賀川流域活動報告

◆嘉麻市◆ 遠賀川源流の森に桜や銀杏等を植えました 3月4日(日)

[詳しい記事を見る](#)

3月4日(日)、遠賀川の源流がある嘉麻市馬見地区と、「ヲラガン(市有林)」において、銀杏・ソメイヨシノ・大島桜などの苗木200本を植樹しました。

主催の遠賀川源流の森づくり推進会議では、遠賀川源流部を中心にこれまでも人の手が入らず荒れ果てた山林を整備する活動を続けており、今回の植樹会はこの活動の一貫です。

当日はあいにくの小雨模様となりましたが、北九州水道局をはじめ、芦屋町役場や足白小学校などから約250人もの人達が集まり、雨で足元が滑りやすいなか、カップ着用で作業は進められました。

子供連れの参加者からは「今日植えた桜が早く大きくなって綺麗な花を咲かせてもらいたい。その日が待ち遠しいです。」と話され、これから成長する木々と子供たちをダブらせているようでした。



地面に植樹の穴を掘り、人の背丈ほどの木を植えます 木の成長を支える支柱を打ち込み、ヒモで結わえます。参加者の皆さんお疲れ様でした

◆飯塚市◆ 第8回 ふくおか水もり自慢! 筑豊大会 開催 3月10日(土)~11日(日)

[詳しい記事を見る](#)

3月10日(土)から2日間にわたり「ふくおか水もり自慢! 筑豊大会」(主催:福岡県、ふくおかみずもり自慢実行委員会)が、飯塚市柏の森の近畿大学産業理工学部福岡キャンパスで開催されました。これは、県内の水・森にかかわる活動をしている団体が一堂に会し、その活動を発表・意見交換をすることによって、他の団体の活動状況や手法を学び、理解することによって、今後の自らの活動の糧とするとともに異分野交流や行政と市民団体とのパートナーシップ等を促進することを目的とし、ステージ発表やパネル発表の他、討論会、現地見学などを行うものです。

この大会は、福岡、久留米、北九州、筑豊の県内4つの地区の会場を巡って毎年開催されます。8回目となる今回は、「これまでの振り返り」をテーマに、会場には過去の発表パネルが展示され、8年前の記録を懐かしげにご覧になっている参加者の姿も多く見られました。ステージ発表では地元の市民団体を始め、学生や行政、子ども達など、約30団体の取り組みが発表され、約180人の参加で盛り上がりました。



「めだかの学校 すずめ教室」 NPOアザメの瀬「アザメの瀬関連事業」佐賀県唐津市アザメの瀬 YNHC(青少年博物館)



子供達のポスター発表会場に、みなさん熱心に子供達に質問していました 子どもの部 表彰式 みんなお疲れさまでした



キッズLNC NGO河川・環境ボランティア 直方川づくり交流会 次世代につなぐ絆 龍王・山・里・川の会 ~よみがえれ建花寺川 復活隊~



直方県土整備事務所 福岡県河川課 ふくおか川の大掃除 飯塚県土整備事務所「明星寺床上浸水対策特別緊急事業」 実行委員長 島谷 幸宏 氏

遠賀川はゴミ捨て場ではありません！！

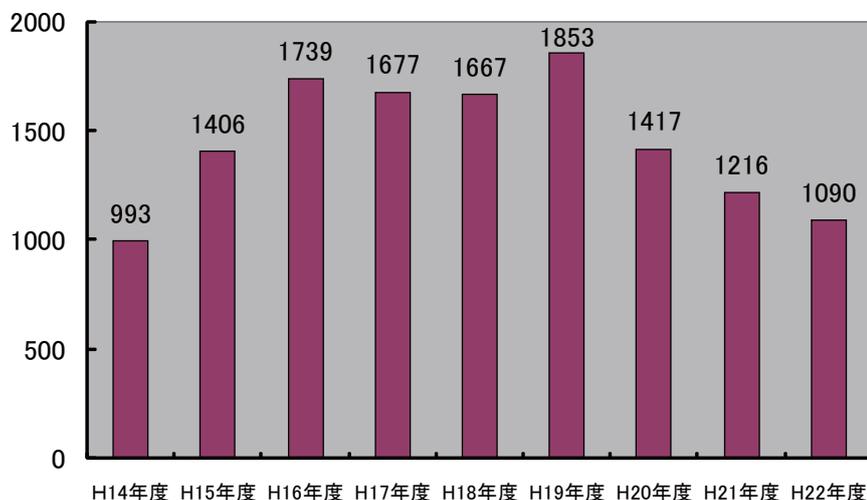
遠賀川では、多くの方がボランティアで清掃活動に取り組んでいる事は今までご紹介したとおりです。しかし、この遠賀川では、今も、いや、この瞬間にも、たくさんのゴミが捨てられています。なかには、ガラス・蛍光灯・釘等、大変危険なゴミまで捨てられています。遠賀川はゴミ捨て場ではありません。こんな悲しい現状、みなさん、どう思いますか？

遠賀川で発見したゴミの一例



家庭ゴミに始まり、冷蔵庫、エアコン（室外機）、原付バイク（油流出の恐れあり）、ガラス片（危険！）

遠賀川流域におけるゴミの不法投棄件数



左の表は遠賀川河川事務所で実施している河川巡視の中で、遠賀川流域に捨てられているゴミを発見した件数です。

実際には、まだまだ多くのゴミが捨てられています。

ペットボトル1本でも、紙くず一つでも川に捨てれば、ゴミは山のように集まります。



← 下流に流れ着いたゴミは塵芥収集船（クワガタ号）で収集されます

下流はゴミでいっぱい！（洪水時の写真です） →



遠賀川下流にある「遠賀川河口堰」では、平成22年度のゴミ撤去費用が約1,900万円かかっています。

流域内のイベント等の予定

- ・ 4月7日(土)~15日(日) 直方チューリップフェア 2012
- ・ 4月 8日(日) 犬鳴川桜まつり（前夜祭は4月7日(土)）
- ・ 4月29日(日) 八反田・川のぼりイカダレース
- ・ 5月19日(土)~20日(日) 川渡り神幸祭

【場 所】

- 直方市 直方リバーサイドパーク
- 宮若市本城 犬鳴川河川公園
- 嘉麻市臼井
- 田川市伊田

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
 住所 直方市溝堀1丁目1-1
 電話 (0949) 22-1830
 FAX (0949) 22-2859
 HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
 電話 0948-22-3535
<http://www.ongagawa.jp/>